

国道354号 岩井バイパス 一部供用開始



国道354号岩井バイパス（上出島～馬立、延長3600m）のうち、県道中里坂東線と結城坂東線の間（延長903m）の工事が終了し開通しました。昨年7月に開通した区間と合わせ、結城坂東線の西側区間（岩井西高跡～国王神社北側、延長2200m）が開通したことになります。残りの区間（上岩井～馬立、延長1400m）は来年度に工事が完了し、全線開通になる見込みです。

今回の開通により、中心市街地の渋滞の緩和が期待されます。

ばんどう まちづくり

坂東市長 吉原英一



生活環境 向上への取組

地球温暖化をはじめとする環境問題は、身近な暮らしにも影響があり、市民のみなさんの環境への関心や問題意識は高まりつつあると思います。

このようななか、私たち一人ひとりが積極的に環境活動に取り組み、豊かな水と緑の恵みを未来へつなぐまちを目指すため、「坂東市環境基本計画」を昨年策定しました。そのなかで、坂東市を代表する菅生沼など、かけがえのない自然環境と景観を守り、市民・事業者・行政それぞれが役割分担のもと、持続可能なま

ちづくりを進めています。

地球温暖化対策として、市民・事業所・学校などに対し、緑のカーテン設置の啓発活動や節電節水の呼びかけ、イベントを通じたCO2削減のPR活動を行っています。5月24日に開催されたばんどうホコテンにおいて、グリーンカーテンとして育てていただくよう朝顔の苗の配布を行いました。関心の高さからか、300株用意した苗はあっという間に配布が終了するほどでした。

生活環境保全対策として、「クリーン坂東」による市内の一斉清掃を行っています。市民のみなさんの環境に対する意識が向上したこともあり、回収するごみは年々減少傾向にあります。また、不法投棄に対し、区長のみならず「環境監視員」をお願いしています。不法投棄はなかなか無くなりませんが、地域のみなさんが監視の目を光らせ、不法投棄をさせない環境を整えることが大切です。

ごみ処理については、減量や再資源化、円滑な収集体制の整備、生ごみ処理機購入補助、ごみの減量化・再資源化に関する意識高揚を図るための啓発活動を行いながら、市民サービスの向上を図っています。また、新たなリサイクルシステムとして、デジカメや携帯電話などを回収する使用済小型家電回収ボックスを公共施設6か所に設置しました。福島第一原発事故における放射能対策として、放射性物質による環境汚染や健康被害など生活環境に及ぼす影響が懸念されているため、ゲルマニウム半導体検出器を導入し、水道水や学校給食用食材、農産物などの放射性物質の測定を行っています。さらに、毎日市内で測定した大気中の数値を公表するなど、安全・安心の確保に努めています。

今後も安全・安心な生活環境の保全などに努めていきますので、市民のみなさんのご協力をお願いします。